

# 八千代市立萱田小学校



ホームページURL : <https://www.yachiyo.ed.jp/ekayada/>

## 今年度のESDの重点目標(取組)

萱田小学校の環境を生かして

～保護者・地域とともに取り組むSDGs～

### 【令和4年度 ESD 実践報告】

#### 01 保護者とともに取り組むSDGsチャレンジ

萱田小学校では、長期休暇などを使って「SDGsチャレンジ」という取組を行ってきた。本年度は、保護者の中から、「自分達ができるSDGsには、どのようなものがあるのかを知りたい」という声が上がった。そこで、本校職員と保護者で考え、取組のヒントとなるよう、「SDGsゆりの木」というポスターを作成し全家庭に配付した。本年度は、児童・保護者がこのポスターをヒントに、年間を通してSDGsに取り組んでいる。



#### 02 ポルピィ牧場から循環型社会を考える

萱田小学校には、ポルピィ牧場があり、ポニー、羊、ヤギ、ウサギを飼育している。これまでは業者からチモシー(干し草)を購入し餌としていた。しかし、昨年度より、保護者・地域の農家の方々に、人参や大根の皮やキャベツの外葉、出荷できない野菜を持ってきてもらい動物たちに与えるようにした。その結果、毎日多くの野菜や果物が集まり、それを飼育委員会の児童が動物に与えることで、これまでゴミとして捨てられていたものを有効利用することができるようになった。また、野菜を持ってきた児童が自分でエサを与えることもでき、動物と触れ合う機会も増えた。さらに、動物たちの糞を使って堆肥作りを行い、花壇や学年園の肥料として活用している。捨てればゴミだが使えば資源であるということについてポルピィ牧場を通して日々実践している。



#### 03 地元企業とともに進めるSDGs

夏休みのSDGsチャレンジで、家の周りでゴミ拾いを行い、それを地元の業者に持っていき資源として買い取ってもらい、その収益金を寄付するというチャレンジに取り組んだ児童がいた。そのチャレンジに児童会役員が興味をもち、萱田小学校として、地元企業と連携して取り組むことは出来ないかと考え連絡を取った。その結果、現在は萱田小学校と地元企業で連携をしてSDGsに取り組んでいる。具体的には、児童会を中心として、ペットボトル、ペットボトルキャップ、アルミ缶の回収を行う。それを地元企業に資源として買い取ってもらう。その収益についても、児童会を中心に考え、SDGs達成のために使用していこうということになった。きっかけは一人の児童のSDGsチャレンジの取組みであったが、現在は、児童会を中心として萱田小学校全体の取組として取り組んでいる。

